

プログラム責任者からのメッセージ



泌尿器科
教授 井上 啓史

泌尿器科医は内科的領域と外科的領域を幅広く総合的に診察する専門医です。医学は大きく外科系と内科系に分かれますが、泌尿器科はそれらの範疇を超えて、他科領域と広範な接点を持っており、多彩な専門分野で活躍することが可能です。すなわち、泌尿器科は、専門性を生かしたスペシャリストを目指す方はもちろん、総合診療科的な考え方を身につけたいと考えておられる研修医にも最適です。対象とする患者さんも小児から高齢者まで幅広く、適材適所で働く場所を見つけることが可能です。

泌尿器科における専門研修では、希望目標に応じた個別研修プログラムの選択が可能です。みなさんの希望する研修目標に向けて個別アドバイザーも精一杯併走します。ぜひ、みなさん！泌尿器科診療の現場でその魅力を体感してみてください。

プログラムの特色

高知大学医学部泌尿器科専門研修プログラムは高知大学医学部附属病院を基幹施設に、連携施設としては基幹型臨床研修病院(拠点教育施設)と地域医療を担う協力型臨床研修病院(関連教育施設)の2群から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得とともに、他の専門診療科を含む地域医療との連携も行える能力を身につけることができるよう配慮しました。

また、専門研修後には、より高い臨床実施能力の獲得を目指す臨床重点コース、学術的な涵養を目的とした大学院進学コース、高知大学医学部地域枠を卒業し地域医療での義務年限を前提とした地域医療コースの3つから選択することが可能です。

連携施設名等

	施設名	指導医名	専門分野・特色	外来患者数 (1ヶ月平均)	病床数
基幹施設	高知大学医学部 附属病院	井上 啓史 他8名	泌尿器疾患全般、泌尿器 腫瘍、結石、排尿障害、小児	1,060	613
連携施設	県立幡多けんみん病院	澤田 耕治 他3名	泌尿器疾患全般	956	355
	国立病院機構高知病院	大河内 寿夫 他1名	泌尿器疾患全般	1,200	424
	高知医療センター	新 良治 他2名	泌尿器疾患全般	580	660
	近森病院	佐竹 宏文 他2名	泌尿器疾患全般 泌尿器救急、尿路結石症	800	512
	県立あき総合病院	安田 雅春 他2名	泌尿器疾患全般	630	270
	土佐市民病院	小松 文都 他1名	泌尿器疾患全般、透析	990	150
	北島病院	北島 清彰 他1名	泌尿器疾患全般	700	50

専攻医
週間スケジュール

高知大学医学部
附属病院の例

高知大学医学部泌尿器科専門研修プログラムでは、bed-sideや実際の手術での実地修練(on-the-job training)に加えて、広く臨床現場での学習を重視します。

		月	火	水	木	金
午前	8:30~	手術	外来診察・ 入院患者処置	外来診察・ 入院患者処置	手術	外来診察・ 入院患者処置
	9:00~					
午後	13:00~	手術	外来診察・ 入院患者処置	症例 カンファレンス	手術	外来診察・ 入院患者処置
	17:00~					
	17:30~			勉強会		低侵襲手術教育 トレーニング センターでの hands-on-training

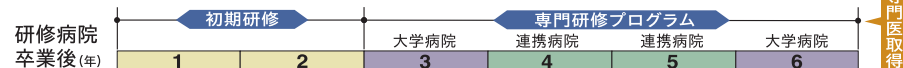
募集人数 ▶ 4名/年

選考方法 ▶ 書類選考および面接

研修期間 ▶ 4年

専門医取得までの
タイムスケジュール

臨床重点コース 臨床重点コースでは、原則的には専門研修プログラム2-3年次を研修連携施設で研修し4年次に大学病院に戻って研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により2年次以降の研修先に関しては専門研修プログラム管理委員会で決定します。



大学院進学コース 大学院進学コースでは、専門研修4年次において大学院へ入学します。病棟や外来業務は従来と同様に行いますが、一方で自分の専門分野を決定し研究の準備も並行しながら行います。本コースを選択した場合は卒後6年間で専門医の取得が可能で9年間で学位を取得することが可能です。



地域医療コース 地域医療コースでは、医師養成奨学貸付金を貸与された方を対象として、貸与期間の1.5倍に相当する償還免除勤務期間を満たしつつ専門研修を受け、専門医を取得して頂きます。下記は、医師養成奨学貸付金を6年間貸与された例で、9年間の償還免除勤務期間を満たす必要があります。この場合、初期臨床研修期間も償還免除勤務期間として算定されます。その後、専門研修プログラムに参加する高知市及び南国市の医療機関での勤務も最大3年6箇月が償還免除勤務期間として算定されますので、連携施設を選択することによって、専門医を卒後6年間で取得することができます。本人の希望により、償還免除勤務期間と専門研修プログラムに関しては専門研修プログラム管理委員会で決定します。



取得可能専門医

泌尿器科専門医

- 泌尿器腹腔鏡技術認定医
- 透析医学会専門医・指導医
- がん治療認定医
- 臨床遺伝専門医・指導医

指導医の声



特任助教
波越 朋也

皆さんこんにちは。泌尿器科学講座の波越 朋也(なお ともや)です。突然ですが、皆さんは「泌尿器科」という診療科について、どのようなイメージを持っていますか？もしかすると、外陰部や後腹膜臓器の手術だけをしているマイナー科というイメージを持っている方もいるかもしれません。もちろん手術は泌尿器科医にとって重要な役割ですが、排尿障害や透析医療、尿路結石治療や女性泌尿器科領域など、実は多岐にわたる分野が存在します。私自身も、「小児泌尿器科」という領域をサブスペシャリティとし、すでに専門外来をおこなっています。私は小児泌尿器科の勉強をするにあたり、日本で有数の小児病院である兵庫県立こども病院で、2018年4月から2020年3月まで研修をしてきました。2020年4月より、高知大学で小児泌尿器科外来を行っていますが、患児の笑顔やご家族からの感謝の言葉に、とてもやりがいを感じています。

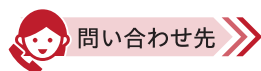
手術もしたいけど内科的な仕事もしたい方や、専門性を極めたい方は、ぜひ泌尿器科という選択肢を一度検討してみてください。

先輩の声



医員(レジデント)
吉村 理愛

高知大学医学部泌尿器科学講座の吉村理愛と申します。もともと医学生の際から外科系に興味があり、多数の臓器を扱えるところ、診断から治療までを一貫して行うことができることに惹かれ、泌尿器科に入局しました。泌尿器科は男性患者が多いイメージがあると思いますが、骨盤臓器脱や腹圧性尿失禁など女性特有の疾患を診る機会も多く、年齢層も小児から高齢者まで多種多様です。日中は病棟業務や検査、週に2日手術日があり、開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット補助手術に加え、経尿道的手術があります。経尿道的手術は専攻医1年目の頃から大学や関連施設で経験を積むことができ、若いうちから主体となって手術に参加させていただくことができます。時間外に緊急で呼び出されることはあまり多くありません。余裕を持って勉強に時間が割けることや、講演会の開催も多く、最新の知見に触れる機会があることも当講座の魅力のひとつです。少しでも興味のある研修医の先生方は、一度医局へ遊びに来ていただけたら嬉しいです。お待ちしております。



問い合わせ先

■教室名／泌尿器科学
■担当者名／深田 聡
フカタ サトシ

■電話／088-880-2402
■メール／im39@kochi-u.ac.jp